

高畠町公式マスコットキャラクター



たかつき

はたつき

平成30年度
第2回高畠町景況調査結果
(平成30年12月実施)

平成31年2月
高畠町商工観光課

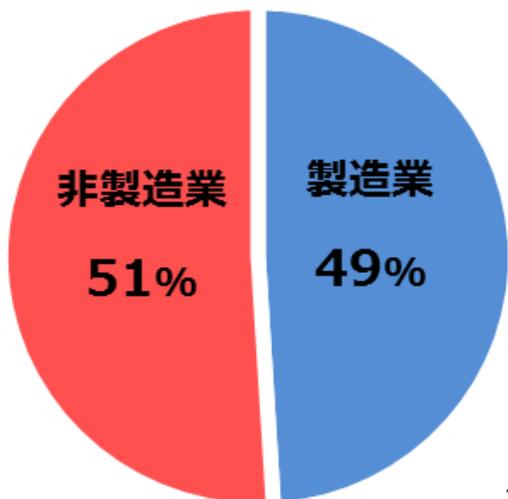


1. 調査概要及び回収結果

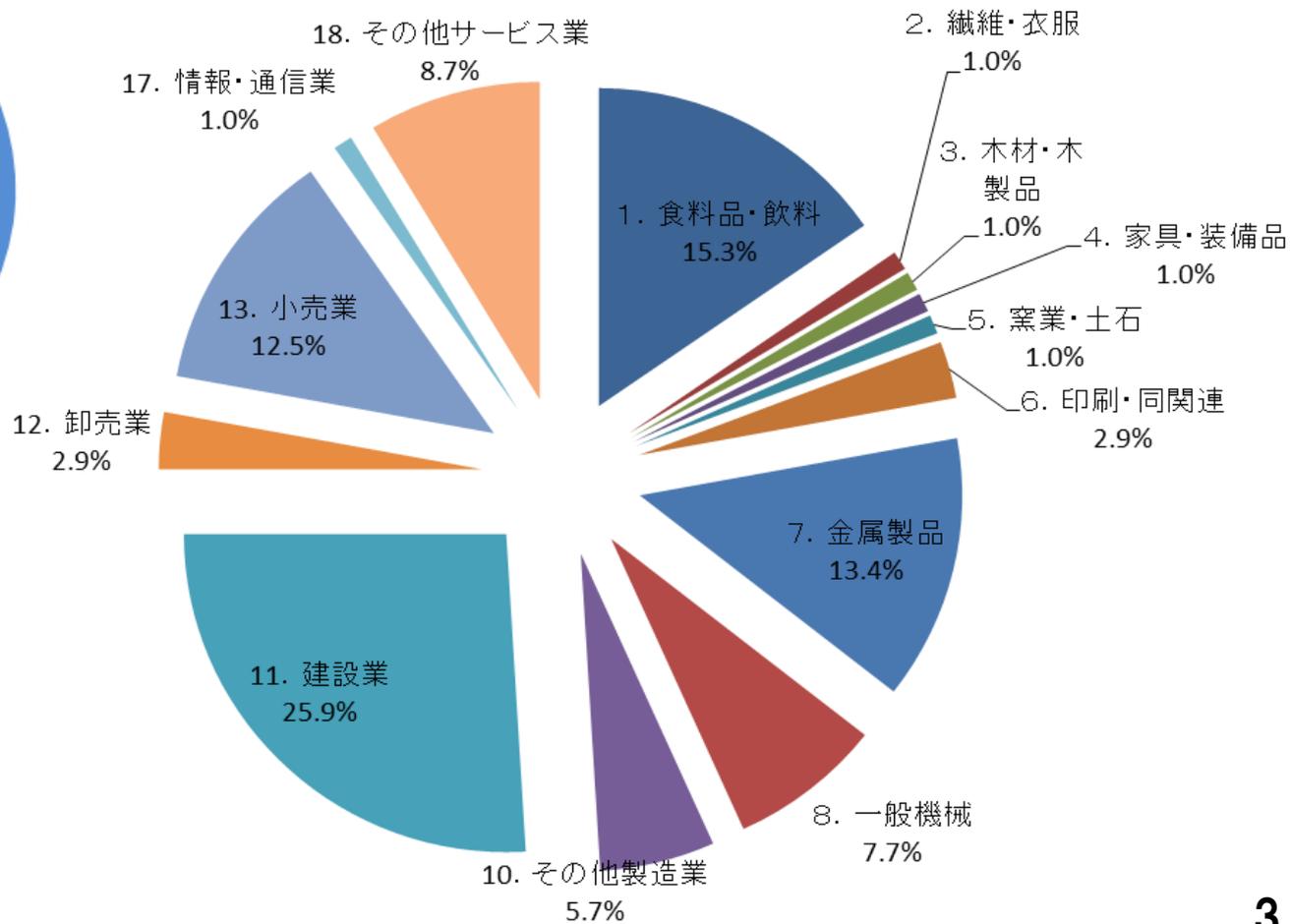
1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、政府による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高島町、高島町商工会
3. 調査設計
 - (1) 標本数：町内事業所(個人事業主も含む)178事業所
 - (2) 調査方法：調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
 - (3) 調査期間：平成30年12月28日～平成31年1月31日
 - (4) 基準日：平成30年12月1日
4. 回収結果 104事業所(回収率58.4%) ※ 前回：61.2%
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

<回答事業所内訳>

製造業・非製造業別

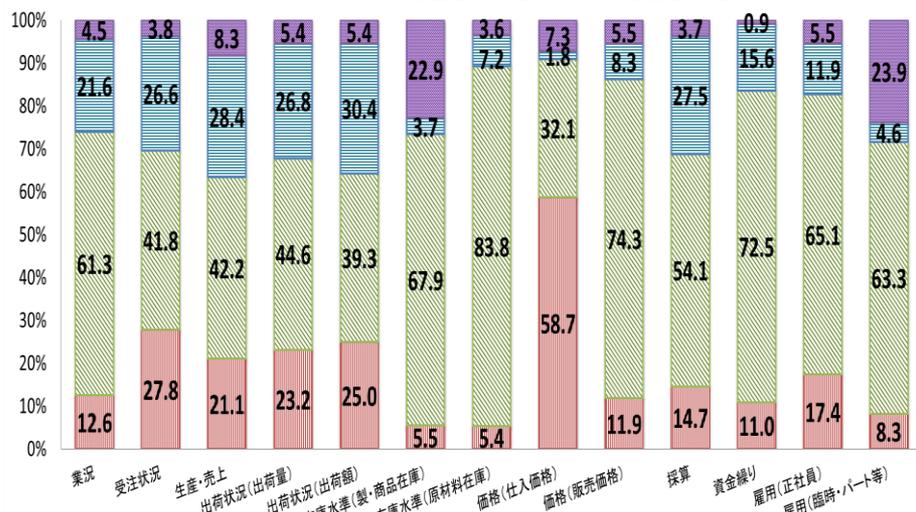


業種別

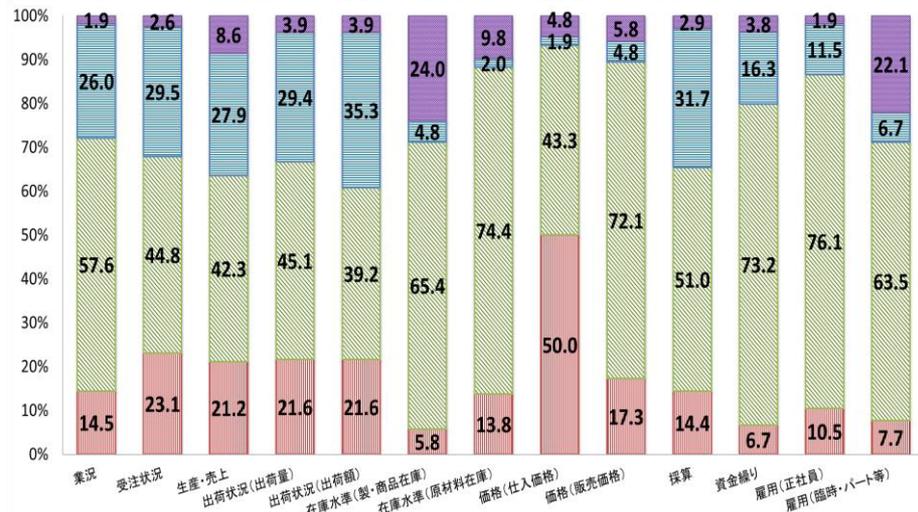


2. 各設問のデータ比較

前期(平成29年12月～平成30年5月)

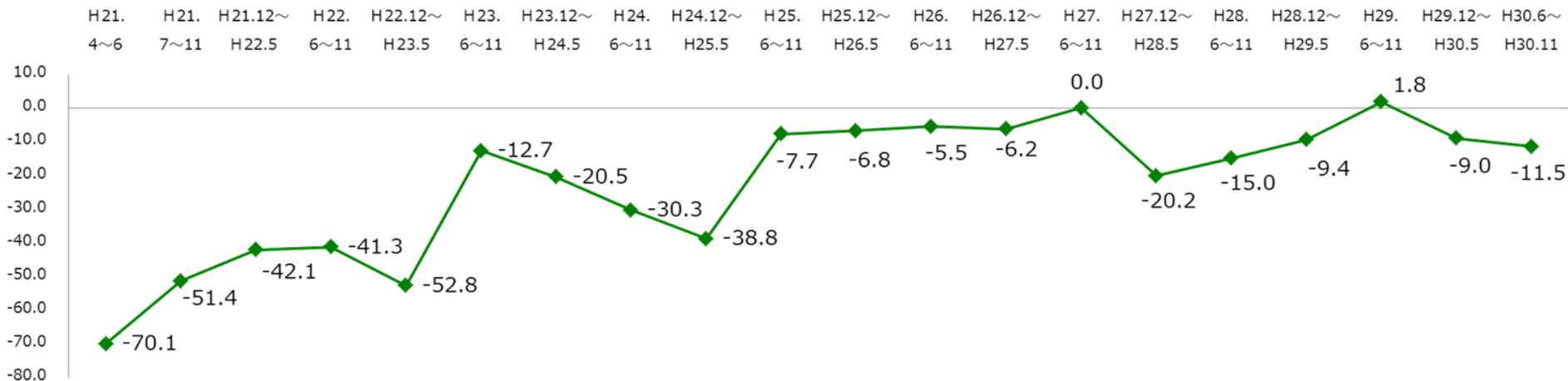


今期(平成30年6月～平成30年11月)



■ 増加(良い、上昇、過剰等) ■ 普通(不変、適正) ■ 減少(悪い、低下、不足等) ■ 無回答

調査開始からの業況D.Iの推移



3. D.I.から見た景気予測

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」-「減少(悪い・低下・不足等)」の値

No.	調査項目	H21	H21	H21.12~	H22	H22.12~	H23.6~	H23.12~	H24.6~	H24.12~	H25.6~	H25.12~	H26.6~	H26.12~	H27.6~	H27.12~	H28.6~	H28.12~	H29.6~	H29.12~	今回調査	
		4月~6月	7月~11月	H22.5月	6月~12月	H23.5月期	11月期	H24.5月期	11月期	H24.5月期	11月期	H25.5月期	11月期	26.11月期	H27.5月期	27.11月期	H28.5月期	28.11月期	H29.5月期	29.11月期	H30.5月期	H30.6~ 30.11月期 実績
1	業況 「良い」-「悪い」の指数	▲ 70.1	▲ 51.4	▲ 42.1	▲ 41.3	▲ 52.8	▲ 12.7	▲ 20.5	▲ 30.3	▲ 38.8	▲ 7.7	▲ 6.8	▲ 5.5	▲ 6.2	0.0	▲ 20.2	▲ 15.0	▲ 9.4	1.8	▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 20.2
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」-「減少」の指数	▲ 80.3	▲ 50.1	▲ 43.1	▲ 26.1	▲ 23.6	▲ 4.4	▲ 13.8	▲ 27.1	▲ 34.7	8.0	12.8	2.4	▲ 1.2	10.1	▲ 18.2	▲ 14.8	▲ 9.5	▲ 4.9	1.3	▲ 6.4	▲ 20.5
3	生産・売上 「増加」-「減少」の指数	▲ 70.1	▲ 48.6	▲ 31.9	▲ 14.3	▲ 40.3	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 25.0	▲ 33.7	2.9	1.9	0.0	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 6.8	0.9	▲ 7.3	▲ 6.7	▲ 13.5
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 70.3	▲ 47.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 24.4	9.4	▲ 17.5	▲ 43.9	▲ 35.6	3.5	11.5	14.0	▲ 5.7	▲ 2.0	▲ 21.7	▲ 14.5	▲ 5.2	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 13.7
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 67.6	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 29.8	3.1	▲ 32.5	▲ 46.3	▲ 40.7	0.0	9.6	10.5	0.0	▲ 2.0	▲ 15.0	▲ 9.1	▲ 8.6	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 13.7	▲ 19.6
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」-「不足」の指数	▲ 5.2	2.7	2.9	6.3	8.3	3.2	9.6	7.9	9.2	7.7	3.9	▲ 0.9	4.4	4.6	5.7	1.8	3.4	5.3	1.8	1.0	▲ 1.9
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」-「不足」の指数	16.2	11.8	0.0	10.0	5.4	9.4	2.5	12.2	6.8	14.0	3.8	7.0	0.0	3.9	3.3	9.1	5.2	7.1	▲ 1.8	11.8	2.0
6	価格【仕入価格】 「上昇」-「低下」の指数	▲ 3.9	2.8	18.8	27.0	32.0	34.9	32.9	32.9	50.0	45.2	59.2	49.1	48.7	28.7	25.0	33.6	32.5	38.1	56.9	48.1	43.3
	価格【販売価格】 「上昇」-「低下」の指数	▲ 51.9	▲ 52.8	▲ 40.6	▲ 30.1	▲ 26.4	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 7.7	8.7	1.8	4.4	▲ 0.9	▲ 4.8	▲ 3.5	▲ 4.3	12.4	3.7	12.5	8.7
7	採算 「好転」-「悪化」の指数	▲ 70.1	▲ 55.5	▲ 39.1	▲ 27.0	▲ 54.1	▲ 25.4	▲ 24.7	▲ 27.6	▲ 35.7	▲ 8.7	▲ 20.4	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 16.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 17.3	▲ 22.1
8	資金繰り 「好転」-「悪化」の指数	▲ 50.6	▲ 40.3	▲ 23.2	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 22.4	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 5.5	0.0	▲ 7.4	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 4.6	▲ 9.6	▲ 20.2
9	雇用【正社員】 「増加」-「減少」の指数	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 10.3	▲ 9.6	1.4	▲ 11.1	12.3	▲ 2.6	▲ 5.1	1.0	▲ 7.8	▲ 3.6	0.0	▲ 5.6	4.0	▲ 8.0	3.4	▲ 1.8	5.5	▲ 1.0	12.5
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」-「減少」の指数	▲ 15.6	1.4	▲ 5.8	7.9	▲ 5.5	0.0	16.4	1.3	▲ 1.0	1.9	1.9	0.0	3.5	1.9	0.8	▲ 2.7	1.7	2.7	3.7	1.0	2.9

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、未だ回復基調の中にあり、販売価格や雇用面で上昇しているものの、製造業や建設業を中心に、受注や出荷額等が減少しており、全体的に下降しつつある。

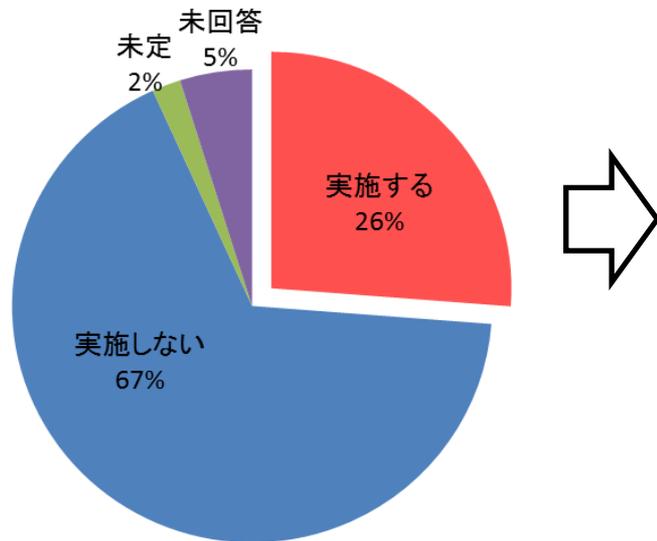
(1) 業況については、前期(▲9.0)から今期(▲11.5)と2.5ポイント減少した。「各種D.I値(前期比)」を見ると、「受注状況」「出荷状況」「採算」「資金繰り」の値が減少している。また、「仕入価格」は値が減少したものの、未だ「上昇」と回答する事業所が過半数を占めている。一方で、「各設問のデータ比較」を見ると、普通(不変・適正)という回答が主となっており、「増加」や「減少」の上下も少なくなっている。

来期の業況予想は▲20.2と、今期より8.7ポイント下降の見込みとなっており、その他の設問についても、減少となる予想である。

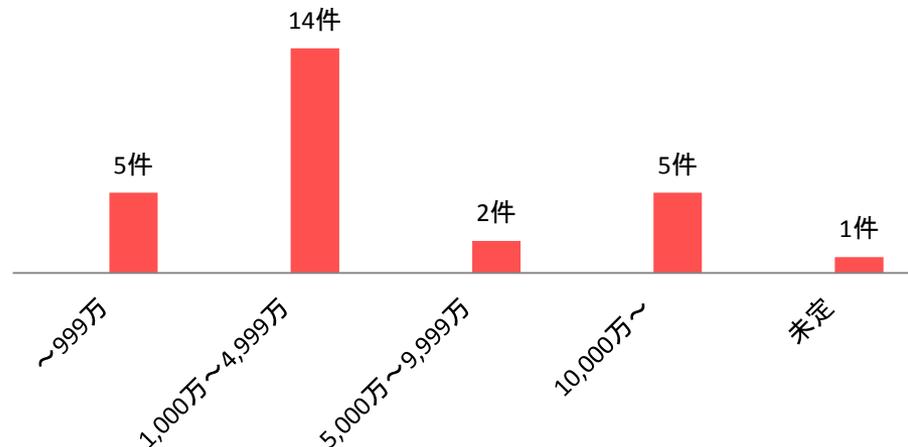
(2) 雇用について、今期は「正社員」「臨時・パート社員」共に、値が減少したものの、来期は新規雇用を見込む事業所も多く、プラスの値に転じる予想である。

5. 設備投資について(平成31年度計画)

設備投資を実施するかどうか



予定予算規模



設備投資予定の種類

種類	件数 (件)
機械	14
建物	4
機械・建物	2
機械・その他	2
その他	4
未定	1

設備投資を考えている企業割合は全体の26%と、前回同項目を調査した際（平成29年度第2回）と比べ、2%減少した。

機械設備の導入を検討している企業が多い様子である。

6. 事業所・業界の動向、要望事項

1	町の業者で出来るものは町外でなく、町内で生産させて頂きたいと存じます。
2	その月その月をクリアしているので、来期予想はつかず、記入できない。
3	インターネットを使った販売(楽天市場、ヤフーショッピング等)、電子マネー決済などの勉強会の開催